

目次

Contents

1・2 ◆ 泉湧くところ

《Seasonal News》—季節のニュース—

3・4 ◆ 令和4年度事業報告および決算について

《Featuring News》—注目のニュース—

- 5 ◆ 福岡市立高等学校(4校)と連携協定を締結
高等学校の生徒を対象にキャンパスツアー・
授業参加型プログラムを実施
- 6 ◆ 福岡歯科大学 同窓生ご子息・ご息女対象オープンキャンパス
ならびにホームカミングデーを開催

《Campus News》—学園の話題—

- 7 ◆ 医科歯科総合病院が病院機能評価を受審
◆ 福岡看護大学で第二回芸術祭を開催
- 8 ◆ 福岡歯科大学学生研究支援プログラム
リサーチ・スチューデントが決定
◆ 田口短大学長(常務理事)が内戦状態が続くミャンマーで医療支援
- 9 ◆ 令和5年度第1回福岡看護大学・福岡医療短期大学
高校教員対象合同入試説明会を開催
◆ 福岡歯科大学学年説明会並びに個別面談会 開催案内
- 10 ◆ 福岡市民の健康を歯と口から守る集いに参加
◆ 医科歯科総合病院で災害対応訓練を実施
- 11・12 ◆ 福岡歯科大学・福岡看護大学・福岡医療短期大学
オープンキャンパス開催のお知らせ

《People》—学園の「ひと」—

- 13 ◆ 教員紹介
◆ 福岡歯科大学・福岡医療短期大学 学生後援会会長改選
福岡歯科大学・福岡看護大学 学友会総務委員長決定
◆ 第16回 健康まるごと福岡学園開催案内

《Events》—学園行事レポート—

- 14 ◆ 福岡歯科大学口腔医療センターのご紹介

《From Alumni》—同窓会だより—

- 15 ◆ 学術報告(酒井 貴芳・25期生)
◆ 同窓生からの手紙(都築 尊・18期生)
- 16 ◆ クリニックからこんにちは!(大川 伊織・23期生)
◆ 卒業生NOW(松尾 勇弥・35期生)

《Affluent Voices》—みんなの声—

- 17 ◆ 看護大学だより
◆ 短大Voices
- 18 ◆ 学生からのメッセージ(河田 卓也・福岡歯科大学 第5学年)
◆ 保護者からのメッセージ(太田 文隆・福岡歯科大学 学生後援会理事・評議員)
◆ コラム
◆ 編集後記

《Information》—お知らせ—

裏表紙 ◆ 入学者選抜日程(福岡歯科大学・福岡看護大学・福岡医療短期大学)

《表紙写真》学園内の風景

ダイバーシティの先をゆく

福岡看護大学長 樗木 晶子

いわゆる西洋医学は、専門領域に細分化して高度に発展してきた。一方、東洋医学や看護の基本理念は、人を丸ごとのファジーな総体として把握し、病気だけに焦点を絞ることなく、心身を治癒に導こうとするものである。看護の文化はダイバーシティを元々包含してきた。

さて、小学生の時、人の性は男女の2つに分かれ、46本の染色体のうち2本の性染色体がXX(女)か、XY(男)かで性が決まると習ったが、近年、社会的に性も多様化している。教育現場でもいろいろな状況に遭遇することが増えてきた。^{*}最近読んだ本の中に、興味深い記事を見つけたので紹介する。マイクロキメリズムという現象で妊娠中に胎盤を介して胎児と母親の間で双方向に細胞の移動が起こり、胎児が男児の場合、母親に男児由来XY細胞(男性型細胞)が、男児には母親由来XX細胞(女性型細胞)が定着しうるということが解ってきた。全ての細胞が、男でXY、女でXX細胞ではなく、脳組織の性も正常人ですらモザイク状であり混在しているということである。さらに、加齢とともに男性では46,XY染色体がY染色体を失い45,X染色体になり、Y染色体を失ってゆくほど死亡率やアルツハイマー発症率が高くなるというエビデンスが得られている。

このような科学的根拠が明らかになってくると人の性においてすら、2つに分けるべきものではなく、人は相対的に女性型細胞が多い人と男性型細胞が多い人の間に連続的スペクトラムとして存在するのである。社会的に唱えられているダイバーシティに科学的根拠が裏打ちされたことで、私の頭の中がスッキリと整理され、ストーンと収まった。看護が包含してきた寛容の文化をダイバーシティの先をゆくものとして、福岡看護大学で推進してゆきたい。

^{*} 深見真紀、ポリモルフィア 7:8, 11:2022